

平成25年第2回竜王町議会定例会（第4号）

平成25年6月20日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程（第4日）

- 日程第 1 議第43号 竜王町子ども未来会議条例
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 2 議第44号 平成25年度竜王町一般会計補正予算（第1号）
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
- 日程第 3 議第51号 竜王町職員の給与の特例に関する条例
- 日程第 4 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第 5 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第 6 議会基本条例推進特別委員会委員長報告
- 日程第 7 所管事務調査報告
(議会運営委員会委員長報告)
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 8 議員派遣について

2 会議に出席した議員（11名）

1番	小森重剛	2番	竹山兵司
4番	岡山富男	5番	山田義明
6番	内山英作	7番	貴多正幸
8番	古株克彦	9番	松浦博
10番	西村公作	11番	菱田三男
12番	蔵口嘉寿男		

3 会議に欠席した議員（1名）

3番 若井敏子

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	副町長	川部治夫
教育長	岡谷ふさ子	会計管理者	赤佐九彦
総務政策主監	福山忠雄	住民福祉主監	松瀬徳之助
産業建設主監	村井耕一	総務課長	奥浩市
政策推進課長	杼木栄司	生活安全課長	井口清幸
住民税務課長	犬井教子	健康推進課長	嶋林さちこ
産業振興課長兼 農業委員会事務局長	井口和人	建設計画課長	竹内修
工業団地推進課長	尾崎康人	教育次長	山添登代一
学務課長	市田太芽男	生涯学習課長	田邊正俊

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	若井政彦	書記	白井由美子
--------	------	----	-------

開議 午後1時00分

○議長（蔵口嘉寿男） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、11人であります。よって、定足数に達していますので、これより平成25年第2回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

皆さんのお手元に、滋賀県市町土地開発公社、株式会社みらいパーク竜王並びに公益財団法人竜王町地域振興事業団の事業報告、経営状況等を説明する書類を配付いたしましたので、よろしく願いいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第 1 議第 4 3 号 竜王町子ども未来会議条例**

**（教育民生常任委員会委員長報告）**

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第1 議第43号を議題といたします。

本案は、教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果を委員長より報告を求めます。

教育民生常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○教育民生常任委員会委員長（貴多正幸） 議第43号、教育民生常任委員会報告。

平成25年6月20日

委員長 貴多 正幸

去る6月12日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第43号、竜王町子ども未来会議条例について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、6月14日午前11時より第1委員会室において委員全員出席のもと会議を開き、竹山町長、松瀬住民福祉主監、嶋林健康推進課長、井口健康推進課参事の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

竜王町子ども未来会議条例は、一人一人の子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目指し、社会環境の整備及び総合的な児童福祉行政を推進するため、総合的かつ計画的に推進する必要があることから、児童福祉、教育双方の観点を持った方々に参画を得て、地域における子ども・子育て支援について調査審議していただく子ども未来会議を設置するため、条例を制定されるものです。

本条例の施行日は平成25年7月1日です。

主な質疑応答は、問 子どもとは何歳までを考えているのか。

答 児童福祉法で言う満18歳未満です。

問 条例中、第3条の組織で、学識経験者の具体的な選出についての考えは持っているのか。

答 担当課で考えている段階ですが、幼児教育・保育の両面から幼児教育の学部がある大学の先生をお願いしようと考えています。

主な意見として、本町には委員会や会議が数多くあるが、定期的開催されていないものも見受けられる。子ども未来会議の内容は重要であるし、必要性も認識するが、そういったことのないよう機能する会議とし、健康推進課を中心にしっかりと取り組まれない。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので、報告いたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいま教育民生常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第1 議第43号を委員長報告のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 起立全員であります。よって、日程第1 議第43号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議第44号 平成25年度竜王町一般会計補正予算（第1号）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第2 議第44号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果を委員長より報告を求めます。

総務産業建設常任委員会委員長、山田義明議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（山田義明） 報告します。

議第44号、総務産業建設常任委員会報告。

平成25年6月20日

委員長 山田 義明

去る6月12日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第44号、平成25年度竜王町一般会計補正予算（第1号）について、審査の経過と結果を報告いたします。

6月13日午後1時より第1委員会室において委員1名欠席のもと会議を開き、竹山町長、福山総務政策主監、松瀬住民福祉主監、奥総務課長、嶋林健康推進課長、寺嶋健康推進課参事、中島行財政係長の出席を求め、説明を受け、審査いたしました。

平成25年度竜王町一般会計補正予算（第1号）は、当初予算に1,916万2,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ62億9,216万2,000円に改めるものです。

歳出では、電気料金の単価の改定による電気料の増額また給与システムの改修費、交通安全施設整備事業として西横関集落内の東浦川に転落防護柵及び橋梁部へのガードレールの設置費用、地域イベント助成事業補助金及び若者交流推進事業補助金、風しん予防接種費用助成金、町単独道路橋梁改良事業に伴う文化財本掘調査のための委託料のそれぞれ追加等です。

歳入では、国庫支出金及び町債及び諸収入のそれぞれの追加及び増額等と説明を受けました。

歳入補正予算の主なものは、国庫支出金、社会資本整備総合交付金（道路改築）169万3,000円、諸収入、健やかコミュニティモデル地区育成事業交付金100万円、前年度繰越金1,497万8,000円、町債、社会資本整備事業債（道路改築）150万円。

歳出補正予算の主なものは、総合庁舎管理事業ほか13の事業での電気料521万3,000円、固定資産評価替調査事業（手数料）466万9,000円、町単独道路橋梁改良事業（委託料）文化財調査338万7,000円、風しん予防接種費用助成金150万円、地域イベント助成事業補助金100万円。

主な質疑応答としまして、問 子ども未来会議の委員会報酬はどのような積算がされているのか。

答 今年度はアンケート調査も予定しているために3回開催の予定です。

問 風しん予防接種の費用助成については副作用も考えられ、重篤な場合も出

てくるので、万が一そのようなことが発生したとき町としてはどのような対応をとるのか。

答 予防接種につきましては、風しんのみにかかわらず、副作用がゼロということはございませんので、そういったことを想定しておかねばなりません。今回助成する予防接種の副作用についても住民の皆様にも周知していかねばなりません。万が一そのようなことが起こった場合、補償の制度もありますので、それによる対応となります。

慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。以上でございます。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま総務産業建設常任委員会委員長より、審査の経過と結果報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第2 議第44号を委員長報告のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第2 議第44号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### **日程第3 議第51号 竜王町職員の給与の特例に関する条例**

**○議長（蔵口嘉寿男）** 日程第3 議第51号を議題といたします。

本案は、質疑は終結しておりますので、これより討論に入ります。討論ありませんか。

7番、貴多正幸議員。

**○7番（貴多正幸）** 議第51号、竜王町職員の給与の特例に関する条例について反対の立場で討論いたします。

第3日目の日に町長が提案理由を申し述べられましたが、いろいろな国の動向があり、つきましては本町においても、国から示された地方公共団体における給

与減額支給措置の基本的な考え方についてを踏まえて、平成24年4月1日を基準としたラスパイレス指数が100となるように職員さんの給与を減額する、また特別職の方については、そういった指数はないですけれども10%減額するというようなことをごさしました。

しかしながら、私の質疑の中で川部副町長は、特に今回一般職の削減をするという背景の中には、やはりさきに住民さん方にいろんな不安なり信頼の失墜をさせたということもございませしとおっしゃられました、そこにはこの町長が申された提案理由にはそういったことは書かれておりませ。また逆に、その住民の不安また信頼を失墜させたという物事がさきに新聞報道にもありました竜王町の水道メーターの交換ができてないということであるならば、全員協議会等で御説明を今までしていただいてましたが、6月いっぱいをめどにメーターの交換をさせていただいて、その後、総括をして職員の処分といいますか、特別職も含めてだと思ひますけれども、そういったことをするというふうには私は説明を聞いていました。ですから、今回一般質問も他の議員ですが、水道メーターの件に関して町長の責任はどうかと、どう思っているのかという一般質問が出されかけましたが、そういったことを踏まえて取り下げされました。

そういった状況の中で、やはりこういった発言をされるということは、私たち議会に対して本当にどういう態度で示されているのか、私にはよくわかりませ。やはり副町長も先頭に立って襟を正してというふうにおっしゃったのに、この一言で私はすごい残念な思いで仕方ありません。

また、町民の皆さんから、やはり国よりラスが高いと、特に106.8というのが私どもとしては住民の皆さんから理解されないであろうということを感じるところでありますともおっしゃられました。逆に106.8ということは高いというふうに思われるならば、そういった仕事をする職員さんであって、またそういった仕事をしている竜王町に僕はなつてほしいんです。だから理解されないだろうということを前提に置いて給料を下げて、ちょっと理解をしてもらおうという物の考え方が本当にいいのか、そういったことをすることによって職員さんのモチベーションが下がっていくのではないかとというふうには私は思ひます。

以上のことから、議第51号については反対をいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ほかに討論はありませんか。

11番、菱田三男議員。

○11番（菱田三男） 私も議第51号について反対の立場で討論をいたします。

先日の提案理由の中で、平成25年1月に閣議決定をされたと報告を受けました。翌月の2月に安倍総理大臣は家計の所得をふやして景気回復につなげたい考えから、経団連、経済同友会、日本商工会議所、経済3団体のトップに賃金を引き上げようと要請されました。このことはテレビ、新聞で皆さんも御承知のとおりだと思います。

一方、この議第51号条例では公務員の給料を削減する内容となっており、国家が推進したい方向とは相反することと私は思っております。公務員も民間企業に勤める人も皆同じ給与所得者であります。給料によって生活設計を立てられておられると、こう私も思います。給料が下がることは直接影響が出ることは必ずでございます。

よって、この条例には反対を表明して討論を終わります。以上。

○議長（蔵口嘉寿男） ほかに討論はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第3 議第51号を原案のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立多数であります。よって、日程第3 議第51号は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第4 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、内山英作議員。

○議会広報特別委員会委員長（内山英作） 議会広報特別委員会報告。

平成25年6月20日

委員長 内山 英作

本委員会は、平成25年第1回定例会閉会後の平成25年4月2日午前9時より、10日午前9時より、17日午前9時より、22日午前9時より委員全員出席のもと委員会を開催し、議会だより163号の編集作業をしました。

また、本定例会中では6月11日午前11時より委員全員出席のもと委員会を開催し、議会だより164号について記事の概要検討と役割分担をしました。

主な記事の内容は、平成25年度補正予算、条例制定、一般質問、委員会活動、議会報告会、シリーズいきいき人生などで、12ページにまとめ、8月1日に発行することになりました。

また、今後の本委員会の日程につきましては、6月27日、7月2日、10日、17日と決定いたしました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

なお、議長には、閉会中の議会広報特別委員会活動につきまして許可くださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。

よって、委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第5 地域活性化特別委員会委員長報告

**○議長（蔵口嘉寿男）** 日程第5 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、古株克彦議員。

**○地域活性化特別委員会委員長（古株克彦）** 地域活性化特別委員会報告。

平成25年6月20日

委員長 古株 克彦

本委員会は、平成25年6月13日午前9時より第1委員会室において委員全員の出席のもと、町執行部より竹山町長、福山総務政策主監、村井産業建設主監、東郷工業団地推進担当理事員、杼木政策推進課長、尾崎工業団地推進課長、松木企業誘致対策室長、森政策推進課課長補佐の出席を求め、町長挨拶の後、事前に求めた事項に沿って所管事務調査を行いました。

1、三井アウトレットパーク滋賀竜王第Ⅱ期増床について。

増床開業スケジュールの中で、スケールアップオープンフェアが7月9日から7月28日に開催されることに伴い、交通誘導対策に万全を期し、第1期プレオープンのときの交通大渋滞の轍は絶対避ける体制と駐車場増設によって乗り切ると説明があった。

町としても、7月9日から7月21日の間は交通混雑が予想されるので、副町長を本部長とする対策体制をしいて対応する説明があった。

主な質疑と応答。

問 町有地の新設駐車場の名称はどうなるのか。

答 竜王町観光駐車場という表現になります。

2、(仮称)竜王岡屋工業団地整備事業の状況について。

(1) 事業の進捗状況について。

平成25年4月1日の工業団地推進課設置以降の関係先との協議等の事業の進捗状況について報告があった。

(2) 交通対策の概要について。

竜王インターチェンジ南交差点、岡屋交差点、国道477号整備について、それぞれ図面により開業後の交通対策について説明を受けた。誘致企業の業種によっては、さらに交通対策の協議を行う予定。

(3) 今後の予定について。

①地元地区との調整。

6月16日に3地区(岡屋・小口・山中)に対して説明会を実施し、さらに6月22日には岡屋地区の住民を対象に実施の予定になっている。工業団地の名称については、「滋賀竜王」というものを念頭に検討中。

②工事関係。

実施設計が最終段階に入って夏ごろに開発許可申請手続を進める予定。

6月の県議会で県有地を県土地開発公社へ用地集約するための財産処分の議案を上程しており、会期は6月末まで。

工事着工は10月ごろになる。

③企業立地の状況。

4者(町工業団地推進課、町企業誘致対策室、県プロジェクト、県土地開発公社)による会議を6月末に開催予定。

ゼネコン等への訪問、情報提供を開始すると同時に、問い合わせも来ている。

価格、諸条件が決まれば、さらに本格的な誘致活動を行う予定。

主な質疑応答。

問 企業立地について竜王町として誘致活動はどのようにしているのか。

答 年1回の立地フォーラムにおいて県とともに全国に発信しています。4者による連携で、誘致活動は今年度末から来年度にかけてがポイントになると思われ  
れます。

問 企業誘致には、道路等のインフラ整備を初め住宅地の確保が必要になって  
くるが、工業団地周辺に予定はあるのか。

答 県と竜王町で協議していきたいと考えています。

3、その他町内企業の状況について。

ワークマン竜王流通センター、エイエフティーについては雇用状況や稼働する  
までの予定について、雪国まいたけ（滋賀パッケージセンター）については増設  
工事の完成、稼働についてそれぞれの説明があった。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決  
めておりますので、議長よろしくお取り計らいますようお願い申し上げます。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して質問  
がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと  
思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。

よって、委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決しま  
した。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議会基本条例推進特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第6 議会基本条例推進特別委員会委員長報告を議題
といたします。

議会基本条例推進特別委員会副委員長、小森重剛議員。

○議会基本条例推進特別委員会副委員長（小森重剛） 議会基本条例推進特別委員

会報告。

平成25年6月20日

副委員長 小森 重剛

本委員会は、4月16日午前9時から301会議室において委員1名欠席のもと会議を開き、今年度の議会報告会について、テーマをどうするのか、昨年のように分科会方式にするのか、全体会のみとするのか、また役割分担などについて協議しました。

報告会は全体会で、テーマについては平成25年度まちづくり事業についてとし、総務産業建設常任委員会で篠原駅改築及び周辺の整備について、町道松陽台安養寺線の新設についての2項目、教育民生常任委員会で子育て支援について及び地域活性化特別委員会で(仮称)竜王岡屋工業団地について、三井アウトレットパーク滋賀竜王Ⅱ期増床工事についての2項目、以上5項目について各委員会の委員長がパワーポイントを使用して報告することを決定しました。

日程については、5月22日の水曜日午後7時30分から午後9時30分とし、竜王町公民館ホールで行うことを決定しました。

次に、5月14日午前9時から301会議室において委員1名欠席のもと会議を開き、議会報告会についての次第、タイムスケジュール、役割分担、参加者へのアンケート及び各提出資料を協議、確認しました。

続いて、5月20日午前9時から同じく301会議室において委員1名欠席のもと会議を開き、議会報告会についてのリハーサルを行い、最終確認をしました。

スケジュールとして、受け付け（同時にアンケートの配布）、開会に先立ち町民憲章の唱和を行い、開会宣言、議長の挨拶に続き、委員会の報告時間を約40分以内と定め、各委員会の報告が終わり次第、意見交換会に移り9時20分に打ち切り、残りの10分間でまとめを行い9時30分に終了することを確認、決定しました。

5月22日、議会報告会当日、午後7時30分に開会、90名の出席をいただき、議員1名欠席の11名の出席で先般確認したスケジュールどおりに進行、午後8時20分で議会からの報告を終了し、引き続き意見交換会に移りました。

意見交換会においての御意見の一部を紹介すると、竜王町として人口1万4,000人を目指しているのに、現状は減少しているがどのように考えているのか。

本日の参加者の中で、若者がほとんどいない。また参加者が少ないので、集める方法を考えてほしい。

竜王町には、アパートなど居住するところがないので、外に出ざるを得ないなど、多くの貴重な御意見を頂戴しました。

6月14日午前9時から301会議室において委員1名欠席のもと会議を開き、議会報告会についてのまとめを行いました。

意見交換会にいただいた御意見及びアンケートの集約整理を行い、まとめとして、町執行部及び開催案内を送付させていただいた各自治会長、各種団体長に議会報告会のまとめを送付させていただくことを決定いたしました。

そのほかとして、議会報告会にとどまらず、御意見のあった若者を対象とした懇談会など各種団体単位の懇談会にも今後は取り組みを継続して考えていくことを協議しました。また、今回の報告会でいただいた貴重な御意見を真摯に受けとめ、今後の議会運営並びに議員活動に生かしていくことを確認し合いました。

以上、議会基本条例推進特別委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていくことを委員会として決めておりますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

以上、報告です。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会基本条例推進特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。

よって、委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第7 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第7 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、菱田三男議員。

**○議会運営委員会委員長（菱田三男）** 議会運営委員会報告。

平成25年6月20日

委員長 菱田 三男

本委員会は、4月2日午後1時より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監、村井産業建設主監、奥総務課長、中島行財政係長の出席を求め、竹山町長挨拶の後、平成25年第1回臨時会の提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、専決処分2件、補正予算1件の計3件です。同議事進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を4月2日1日限りとすること及び議案の処理について審査決定しました。

続いて議会報告会について審議し、5月22日午後7時30分より公民館ホールにて開催することを決定しました。

次に本委員会は、5月7日午後1時より第1委員会室において委員1名欠席のもと委員会を開催し、平成25年第2回定例会の日程について審議し、6月7日から6月20日までの14日間とする案を作成しました。

次に本委員会は、5月20日午後2時より、三井アウトレットパーク滋賀竜王についてをテーマに日本共産党金沢市議員団等3名の視察研修を受け入れました。

本委員会は、5月31日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監、松瀬住民福祉主監、村井産業建設主監、奥総務課長、犬井住民税務課長、嶋林健康推進課長、中島行財政係長の出席を求め、竹山町長挨拶の後、平成25年第2回定例会の提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、新規条例1件、補正予算6件、報告2件、ほか1件の計10件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を6月7日から6月20日の14日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。なお、新規条例1件については教育民生常任委員会に付託すること、一般会計補正予算（第1号）については総務産業建設常任委員会に付託することと決定しました。

次に本委員会は、6月11日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、平成25年第2回定例会第3日の一般質問、9議員12質問について、会議の再開時間及び質問の順序等について審査決定しました。

第3日の会議は午前9時から再開し、会議は通しで行い、会議時間の延長もあり得ること及び質問順序は質問通告書の提出順序とすることに決定しました。

続いて、追加案件1件が提出されることを受け、執行部より竹山町長、福山総務政策主監、奥総務課長、中島行財政係長の出席を求め説明を受け、議案処理について審査決定しました。

以上、議会運営委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、山田義明議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（山田義明） 報告します。

総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成25年6月20日

委員長 山田 義明

本委員会は、5月22日午後1時より第1委員会室において委員1名欠席のもと、執行部より川部副町長、福山総務政策主監、井口生活安全課長、寺嶋生活安全課課長補佐の出席を求め所管事務調査を行いました。

地域防災計画の見直しについて。

まず、事業の概要説明を受けた。平成24年7月に、この2年間にわたる地域防災計画見直し業務を業者に委託。平成24年度は防災アセスメント調査、平成25年度は地域防災計画の見直し素案、関連マニュアル作成等を実施予定。

また、地域防災計画に反映させるべく、自主防災組織との意見交換会を実施された。

自主防災組織の代表者との意見交換会では、自主防災組織が単に報告や訓練用の組織であるという現状、世帯台帳の作成や整備ができていない、資機材の確保や整備ができていない、ハザードマップの配布はしているが啓発などに活用していないなど、地域の自主防災組織にも随分温度差があることが判明しました。

防災アセスメント調査から、過去に当町や近辺で起きた地震災害や風水害の状況や考慮すべき活断層帯、気象、土地利用の変遷などにより被害想定され避難計画の検討を図っていくことのほか、今後の見直しの工程について説明を受けた。

主な質疑応答。

問 上水道の被害想定において、配水管被害による断水率が地震発生より1週

間後で約50%の被害想定がされているが、この状況の対応策は25年度に決まるのか。

答 平成24年度は被害の想定を行い、平成25年度において被害想定に対する対策を検討していきます。

問 地震での建物被害において、断層帯により全壊や半壊棟数に大きな開きがあるが、大鳥居断層帯と南海トラフでどちらをもとにして策定するのか。

答 南海トラフの確率については50年以内に90%程度で、大鳥居断層帯はマグニチュード7.1程度、発生の確率は30年以内で0.074%、50年以内では0.12%と確率が低くなっています。被害想定は大きいが発生の確率の低い大鳥居断層帯か、20ないし30年以内に発生予想される南海トラフか、どちらで想定するかは今後の会議の中で検討していきます。

主な意見。

自社で重機や資材を持たない業者が多い。いざ復旧という時点で間に合わないことも想定し、備蓄基地等の確保も必要である。

本委員会は、6月13日午後2時より第1委員会室において委員1名欠席のもと、執行部より竹山町長、川部副町長、福山総務政策主監、村井産業建設主監、臼井下水道係長の出席を求め所管事務調査を行いました。

上下水道課体制強化の取り組みについて。

上下水道事業の事務内容については、上水道係及び下水道係の事務の内容と現時点での状況について詳しく説明を受けました。

今後の体制強化に向けた問題と課題については、1、量水器の期限切れについては、恒常的な期限厳守への認識の甘さと危機意識の欠如であった。2、現在の事務事業の見直しが恒常的にできていない。3、現体制での事務量と人員配置での問題点が全庁的に共有できていない。4、上水道での経理及び料金徴収事務が各1名体制で代替職員がいない。5、業務の計画的進行管理が課内でできておらず担当任せになっている。6、料金徴収事務は長期の在職職員が行っており、他の職員がかかわりにくくなっている。7、施設の維持管理については職員2名体制での対応により日常事務に支障が出ている。8、貯蔵品倉庫の整理と在庫管理に不備がある。9、上水並びに下水道料金の滞納整理について、文章での督促のみである。直接職員が出向いて徴収できていない。

以上を踏まえまして、現時点としての問題解決への検討としている対応策では、1、量水器の期限切れの対応は、庁内プロジェクト委員会での意見を踏まえて万



全のシステムを構築します。2、日常の報告・連絡・相談は文書化にするとともに、課内共通理解を図ります。3、毎日の課内打ち合わせと同時に係単位の打ち合わせを係長中心に進行管理のチェックを行っていきます。4、四半期ごとの計画と進捗状況について、課長が上席への報告をする。進行がおくれているものは課内での共通理解を図り、課全体での進捗を図っていきます。5、日常業務のマニュアルを作成します。電算処理は誰でも使えるよう再構築します。6、貯蔵品倉庫の整理整頓と機材の在庫管理チェックを毎月初めに行います。7、業務の外部委託について検討します。8、簿記経理事務を行える町職員が限られていることから、専門嘱託職員または事務の一部外部委託などを検討します等の説明を受けました。

主な質疑応答。

問 県企業庁の送水管について、更新協議があり、施工年度について調整していくとの話があるが、町内の配水管等においても同様の見直しが必要ではないか。

答 広域的な面もあわせて、配管ネットや老朽化している施設等全体を合わせて基本的には3年から5年、10年の単位で計画を立てる時期に来ていると認識しています。このようなことを的確に行うことが上下水道課の体制強化につながるのだと思います。

主な意見。

問題や課題に対して検討している対応策は不十分な内容なので、現時点より改善した内容の対応策を早急に議会側に提示されたい。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。以上でございます。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に、教育民生常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○教育民生常任委員会委員長（貴多正幸） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成25年6月20日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、去る5月31日午後1時より第1委員会室において委員全員出席のもと、町執行部より竹山町長、松瀬住民福祉主監、嶋林健康推進課長、井口健康推進課参事の出席を求め、所管事務調査を行いました。

子ども・子育て支援新制度について。

井口健康推進課参事より、国が出されているリーフレットをもとに子ども・子育て支援新制度の説明を受けました。

子育てをめぐる課題として大きく三つあり、1、質の高い幼児期の学校教育、保育を受けることが望まれていること。2、家庭や地域での子育て力が低下してきたこと。3、都市部を中心に待機児童が増加していること、また、子どもの減少で近くに保育の場がなくなってきた地域もあること。

こうした課題解決に向け、幼稚園と保育所のよさをあわせ持つ認定こども園の普及、地域のニーズに応じた多様な子育て支援、待機児童解消を計画的に進めること等を柱に平成27年度から新制度を本格スタートされる予定であり、本町においては、待機児童解消のため平成26年4月の開園を目指し、保育所の整備をしていること、また、子ども未来会議条例の制定に向けた準備をしているとの説明を受けました。

主な質疑応答。

問 幼保一体化について、竜王町は実施しないと聞いているが。

答 待機児童の解消を一番の課題として取り組んできました。秋ごろにニーズ調査を行い、保育園、幼稚園のニーズを把握した上で検討していきます。

問 第五次竜王町総合計画では人口を1万4,000人にふやしていくとなっているが、人口は減少傾向である。状況を見定めて施設等をつくる必要があるのではないか。

答 町の実情と将来的なことも十分考えていかなければならないと思っています。本町では現在実施していない地域型保育も視野に入れ、本町の望ましい保育や子育て支援策の方向性を出していきたいと考えています。

本委員会は、去る6月14日午後1時30分より委員全員出席のもと、栗東市総合福祉保健センターにおいて栗東市の発達支援について、また療育の様子について視察研修を行いました。その後、第1委員会室において、町執行部より竹山町長、松瀬住民福祉主監、嶋林健康推進課長、寺嶋健康推進課参事、平井主任主事の出席を求め、所管事務調査を行いました。

栗東市においては、年々高まる支援ニーズに対応するため、現在ある仕組みを最大限に利用し、一人一人のニーズに応じて必要な支援が継続して受けられるように保育・教育現場と機関の協働する仕組みを構築され、その中核的な窓口として発達支援室を設置されました。

また、システムについてもゼロ歳から20歳までの期間をすき間なく各関係課

が支援できる体制を整えられていました。

療育の様子については、ビデオ視聴をさせていただきながら説明を受けました。子どもの生活年齢、発達段階、発達課題、幼児園等通園の有無などを考慮され、小集団でクラス編成をし、クラス別にプログラムを実施されていました。子どもたちにとっては、思いっきり遊べる、お友達と出会える、自分の力を発揮できる等の教室であり、保護者にとっては、子どもと遊ぶ、子どもを理解する、子どもの発達を考える等の教室づくりに力を入れておられ、本町において来年度から単独で実施予定の療育教室において非常に参考となる視察をさせていただいたのではないかと考えます。

次に、第1委員会室において寺嶋健康推進課参事より、竜王町児童発達支援事業について、平成26年4月開所を目指し、児童発達支援事業関係者会議を8回並びに児童発達支援事業準備委員会を4回それぞれ開催し、万全の体制で臨んでいきたいとの説明を受けました。

主な質疑応答。

問 準備委員会、関係者会議はどのような人に委員になってもらっているのか。

答 児童発達支援事業準備委員会は、滋賀県東近江健康福祉事務所長、竜王町副町長、日野町福祉課臨床心理士、竜王町住民福祉主監、竜王町教育委員会教育次長、竜王西幼稚園長、ふれあい相談発達支援センター所長の7名で、児童発達支援事業関係者会議は、教育委員会学務課課長補佐、竜王幼稚園教頭、福祉課社会福祉係長、ふれあい相談発達支援センターソーシャルワーカー、同じく発達支援カウンセラー、同じく自立支援ルーム指導員の6名で、いずれも健康推進課が事務局をしています。

問 職員体制はどのように考えているのか。

答 現在、ひかりの子の利用者は5人です。基本的に1対1の対応、ほかにリーダー的な先生が1人必要なので、6人を想定しています。

主な意見として、人事やハード的なことも考えると担当課だけの課題ではない。財政当局も含め、全庁的に議論を進めるよう努力されたい。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めていますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございま

した。この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

各委員長より申し出のとおり、所管事務調査等を閉会中も継続して行うことにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、各委員会とも閉会中も所管事務調査等の活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 議員派遣について

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第8 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第119条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくようお願いいたします。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） 平成25年第2回竜王町議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本定例会は、去る6月7日から6月20日までの14日間にわたって会期を持たせていただきました。議員各位には、追加案件を含め9件の議案と2報告に対しまして連日慎重なる御審議を賜り、全ての議案を可決、お認めをいただきましたことに心より厚く御礼を申し上げます。

また、それぞれの委員会で頂戴いたしました御意見や本会議一般質問で賜りました御高見からは、本町のまちづくりをお考えくださっている議員皆様の思いが伝わってまいりまして、改めて申し上げることもございませんが、真摯に受けとめさせていただいて今後の行政経営に生かしてまいらねばならないと心を新たにいたしているところでございます。

さて、アベノミクス経済政策にて景気の先行き感に改善が見られるようになったことは新聞、テレビで報道されているとおりであります。経済成長戦略第2弾が発表され、続いて第3弾が発表されたところではありますが、安倍首相は向こう後3年間で成長戦略施策に関して総動員を行うと表明されており、経済対策に重きを置いておられる姿勢が伝わってまいります。

本町にありましては、基幹産業の農業が将来どのようなようになっていくのかという点に軸足を置いて、打ち出される経済施策を見定めていかねばなりません。第2弾で発表された向こう後10年間で農家の所得を倍増、第3弾で発表された競争力を高める農地集積バンクの基本構想であります。私が申し上げているとおり、農業の実態はその地方、地域で経営状況に大きな違いがあり、現場の実績をよく分析した上での将来構想が必要になると思いますし、国の農業施策と本町の農業経営実態とをかみ合わせていくことが行政の責務になってくるものと思っています。

もちろん、町内事業者、工業者の皆さんとも連携を密にいたしながら成長戦略に乗っていけるように、常に情報や国、県の動きを的確にキャッチしてまいらねばなりませんし、機を逸することのないよう対応することが大切であると考えております。議員の皆様にも御指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

7月11日には、いよいよ三井アウトレットパーク滋賀竜王が第Ⅱ期増床工事を終えられ、スケールアップのオープンとなります。従来の店舗数に新しく70店舗が加わり、近畿ではトップクラスの商業施設になります。スケールアップオープンに向かい、特に交通渋滞を発生させてはなりませんので、去る6月3日に近江八幡警察署、県、近隣市町等関係機関の方々に集まっていただいて交通対策会議を開催し、御協力と御理解を求めたところであり、事業者である三井不動産には改めて駐車場への誘導等私からもお願いしたものであります。6月5日には地元自治会の皆様とも意見交換の場を持ち、地元としての要望点等お聞きいたしました。できることは、すぐにでも着手するべく三井不動産とも確認し、オープン時のトラブル発生のなきよう万全の体制をしいてまいる方針であります。

月が変わりますと同時に、ワークマン流通センターの営業開始、またAFT株式会社の操業開始が予定され、本町に新たに650名以上の雇用が誕生いたします。町の発展が一目に映る形となり、こういった企業立地が本町のまちづくりの柱でありますところの若者定住を促進し、人口増へ向かえる機会にいたさねばならないと考えているところであります。

さらには、本格化いたします（仮称）竜王岡屋工業団地の造成開発事業も町の皆さんにとっては期待も大きく、本町の将来展望の大きな鍵にもなることは間違いなく、県との連携を一層深めて事業推進に当たってまいることいたします。

竜王町は今、注目を浴びるまちであります。昨年度後半にて本町の竜が目をあけてくれたと表現させていただきましたが、今まさに飛翔の態にあると言えると思います。竜王町の確かなあすを築き上げるために、町の皆さんと力を合わせ着実に歩みを進めてまいり覚悟でございますので、議員の皆様におかれましても、格段の御指導と御鞭撻を賜りますようひとえにお願い申し上げる次第であります。

さて、開会時に3月定例会から6月定例会のまちの動きをお伝えいたしました。追加で、竜王町立竜王西小学校が4月23日に平成25年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰を受賞しましたので報告いたします。

うっとうしい梅雨が過ぎますと本格的な夏を迎えますが、どうか議員各位には、くれぐれも健康に御留意をいただきまして、この夏を乗り越えていただきますよう念じ上げております。言葉整いませんが、閉会に際しましての御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（蔵口嘉寿男） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は去る6月7日に招集され、本日までの14日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用の中、連日にわたり御出席を賜り、提案されました重要な案件について慎重なる御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。

また、執行部におかれましては、この間、適切なる対応をしていただき、ありがとうございました。議員各位並びに執行部各位の御協力に対し厚くお礼を申し上げるものでございます。

本会議並びに委員会において各議員から述べられました意見や要望事項につきましては、特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願いする次第でございます。

さて、ことしは梅雨入りが例年より早かったわけですが、梅雨入りを思わせない気候の中で麦の収穫も終わりました。近年の異常気象と言われる状況の中で、これからの季節にあっては、特に集中豪雨などに十分な注意が必要となります。天井河川を擁する本町にとりましては何にも増して重要な課題であり、各地域で充実しつつある自主防災組織を中心に、みずからの地域はみずからが守るを基本に防災、減災の意識の一層の高揚を求められると感じているところであり、こう

したことに通じる実効ある地域防災計画の見直しを望むものであります。

今定例会では、新たに竜王町子ども未来会議条例が設置されました。また来年度、開所予定されています保育所に伴う準備も始まります。第五次竜王町総合計画の大きな柱であります若者定住、人口増への具現化の一つである子ども・子育て支援施策を充実いただき、ぜひとも未来を担う竜王町一人一人の子どもたちが健やかに成長することができる社会の実現をいただきますようお願いいたします。

さて、話題を転じますと、政府は中長期の財政運営の方向を示す骨太方針や企業の成長を後押しする規制緩和や支援政策をまとめた成長戦略について、今日14日に閣議決定しました。聖域なしの歳出抑制、地方の行政改革や地域活性化の努力を査定し交付税を重点配分する、公共事業の選択と集中など、地方の果たす役割は大きくかつ重要で厳しいものがあります。まさに地方の力量が問われるものとなっています。こうした状況のもとで、執行部におかれましては、住民の信頼と負託に応えるため、それぞれの立場で鋭意努力をされるよう強く要望するところでございます。

いよいよ本格的な夏を迎えることとなります。議員各位並びに執行部におかれましては、くれぐれもお体に御自愛をいただき、町政の振興、発展のために一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げ、閉会に当たっての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成25年第2回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦勞さまでございました。

閉会 午後2時17分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 蔵 口 嘉寿男

議会議員 古 株 克 彦

議会議員 松 浦 博